

岩槻商業高校 <<活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）>>

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|------------------------|---------------|--------------------|----|-----|----|-----|
| 課程 | 全日制 | 学科 | 商業科 2クラス 情報処理科 2クラス | R4.5.1 生徒数 | (男) 246 (女) 202 | 計 | 448 | | |
| アクセス | 東武アーバンパークライン岩槻駅（東口）より徒歩15分 国際興業バス（岩槻駅～東川口駅（北口））仲町一丁目バス停より徒歩10分 | | | | | | | | |
| <目指す学校像> | | | | | | | | | |
| 柔軟で創造的なビジネス人材を地域とともに育む学校 | | | | | | | | | |
| <教育課程等>※1 | | | | | | | | | |
| カリキュラム・ポリシー（CP）～教育課程の編成及び実施に関する方針～ | | | | | | | | | |
| 【教育課程の編成方針】 | | | | | | | | | |
| 1 商業では、学科の特色を踏まえながら、4つの分野をバランスよく系統的に学び、総合的科目で各分野相互に関連付けられた技術を身に付け、ビジネスに関する課題の発見及び解決する力を養うことをねらいとする。 | | | | | | | | | |
| ※ マーケティング分野及びマネジメント分野の各一科目を必修として配置する。 | | | | | | | | | |
| 2 学校の教育活動全体を通じて、教科等横断的な視点で教育課程を編成する。 | | | | | | | | | |
| 3 家庭や地域社会との連携及び協働を深めた、開かれた教育課程を編成する。 | | | | | | | | | |
| 【教育課程の実施に関する方針】 | | | | | | | | | |
| 1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善。 協調学習やICT活用（プロジェクタ・アプリ学習・タブレット）等の多種にわたる学習形態。 | | | | | | | | | |
| 2 学習評価の充実 「指導と評価の一体化」を実現するため、観点別評価について組織的かつ計画的な取組を推進する。 | | | | | | | | | |
| <本校が求める生徒>※2 | | | | | | | | | |
| アドミッション・ポリシー（AP）～入学者の受入れに関する方針～ | | | | | | | | | |
| 「柔軟で創造的なビジネス人材を地域とともに育む学校」という本校の目指す学校像に鑑み、本校では以下のような生徒を求める。 | | | | | | | | | |
| 1 専門教科である商業の学習内容に理解を示し、ビジネス（商業）の諸活動に興味と関心を持って学習等に励むことができる生徒。 | | | | | | | | | |
| 2 ルールを守る、他を思いやる、互いに助け合うなど、社会人（職業人）として良識のある行動のできる生徒。 | | | | | | | | | |
| 3 コミュニケーションやチームワークなどの大切さを理解しており、学校内の教職員や生徒たちはもちろん、地域社会の人々とも共に協力し、健全で持続的な発展を意識して協働できる生徒。 | | | | | | | | | |
| <学校行事> | | | | | | | | | |
| ・1学期：遠足、体育祭 ・2学期：岩商祭（文化祭）、マラソン大会、芸術鑑賞会、修学旅行（2年生）、球技大会 ・3学期：課題研究発表会、インターンシップ（2年生）、送別会 | | | | | | | | | |
| <部活動> | | | | | | | | | |
| ・女子ソフトテニス部（インターハイ予選（団体）県ベスト8、強化指定選手） ・弓道部（男子全国大会出場）・陸上競技部（関東大会出場）・バレーボール部（優秀選手）・卓球部（県大会出場） ・コンピュータ部（情報処理競技大会上位入賞） ・書道部（各種展覧会入賞、全国高等学校総合文化祭作品出品） | | | | | | | | | |
| <家庭・地域との連携> | | | | | | | | | |
| ・三者面談を年1回実施 ・インターンシップを実施（2年生全員） ・授業参観週間（年3回） ・中学校保護者の学校見学 ・小学校との交流事業、中学校への学校説明 ・商業科目「課題研究」等での地域企業（和菓子・伝統工芸）との連携 ・通学路清掃、岩槻まつり、鷹狩り行列、岩槻やまぶきまつり等の地域貢献 | | | | | | | | | |
| 進路 | R4.3 卒業生 | 四大 | 20人 | 短大 | 4人 | 専門 | 55人 | 就職 | 77人 |
| | 傾向 | 卒業生の約半数が就職しています。就職内定率100%を続けています。 大学・短大へは全商推薦、指定校推薦、資格優遇推薦などによって、現役で進学しています。 | | | | | | | |

【学校教育法施行規則第103条の2】高等学校における三つの方針

裏面 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

※1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

※2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）



埼玉県立岩槻商業高等学校育成方針

～生徒の成長物語～

目指す学校像

柔軟で創造的なビジネス人材を地域とともに育む学校

- ・実習・体験の充実、授業の工夫・改善
- ・組織的・体系的な教科指導計画
- ・組織的・計画的な生徒一人一人に対応した補習
- ・少人数による学習指導（1学年の数学・英語）
- ・外部テスト、ドリルの活用 ・朝読書の励行
- ・ドローン プログラミング授業
- ・アプリ学習 Wi-fiの活用

学力向上の取組

「未来の職業人人材育成事業」推進校

- ・商品開発・販売
- ・地元伝統工芸継承
- ・スキルアップ講座
- ・キャリア教育

1学年

- 普通科目は学び直して基礎学力を伸ばします。
- 商業の検定試験3級3種目以上の取得率100%を目指します。
- 地域交流を通じた人間育成を行います。

地域連携・開かれた学校づくり

- 近隣小学校との交流事業
- 地域貢献・連携事業の推進
 - ・地域イベントへの積極的な参加（岩槻まつり、鷹狩り行列、やまぶきまつり）
 - ・県防災拠点校としての合同避難訓練への協力
- 近隣地域美化の推進（通学路清掃等）
- 県立学校等公開講座の実施（夏季・冬季）

2学年

- 進路実現の礎のため検定試験は上位級を目指します。
(情報処理国家試験・各種1級)
- インターンシップで全員が正社員として働くことを学び、キャリア教育を充実させます。

3学年

- 商品開発や地場産業を学び、マネジメント力の育成をします。
- きめ細かい指導で進路決定率100%を実現します。
進学 … 資格取得が出願条件の推薦制度を活用した進学
就職 … 伝統校の強みを生かした企業内定率100%

商子ちゃん



進路希望の多様化の推進

- 高校3年間及び卒業後を見通した体系的な進路指導・キャリア教育の実施
 - ・大学や専門学校等の進路見学会の実施
 - ・生徒の表現力向上を目的とした学習指導の実施
 - ・高大接続改革に関する情報提供と進学希望者に対する受験指導（個別相談、小論文や面接指導）
 - ・公務員講座の実施
- インターンシップの実施（2年生全員）
 - ・「総合的な探究の時間」から「就業体験」までの計画的な実施
- 進路説明会・講演会の充実
- 就職支援アドバイザーの活用
 - ・「就職支援アドバイザー派遣事業」実施校
- 地元企業等との連携
 - ・卒業生による進路説明会
- 県就職支援事業への積極的な参加
 - ・高校3年生に対する就職ガイダンス
 - ・高校生対象合同企業説明会
 - ・就職支援セミナー
- キャリア・パスポートの活用